

# 『男女共同参画フェスティバル2010』

11月13日(土)「ひとりひとりが輝くために」をテーマに長野県男女共同参画推進県民会議、長野県、諏訪市実行委員会、諏訪市の共催で文化センターにて開催しました。

当日は、講演会、パネルディスカッション、アトラクション、展示販売、お楽しみ抽選会などを行い、県内各地から約700名の皆さまに参加いただきました。

## ◆アトラクション



「シルキーナイツ」の皆さん



「すわ文化子どもステーション」の皆さん



「諏訪木遣保存会」の皆さん

## ◆講演 「女・男が生きやすい社会」 講師 ジャーナリスト 江森陽弘さん



「料理でもなんでも男性・女性のそれぞれ得意の方がやればよく、それが男女共同参画。女性の能力はすごいから、従来の固定的性別役割分担意識にこだわらずもっと世の中に積極的に出ていかなければいけない。女性は自己規制し、自分を過小評価し過ぎている。女性自身の意識改革も必要」と話されました。

## ◆パネルディスカッション 「ひとりひとりが輝くために」



コーディネーター 信州大学教授 松岡英子さん

パネリスト (株)たび寔代表取締役社長 秋山晶子さん

／ (株)セイコーエプソン人事部長 川名政幸さん

／ (有)高橋製作所代表取締役会長 高橋昭夫さん

／ すわ子ども文化ステーション代表理事 矢野要子さん

それぞれの立場から、女性も男性も育児や介護、地域活動をしながら、働き続けるための工夫や取り組みなどをお話いただきました。松岡先生からは「男だから女だからと何気なく思い込んでいることに気づき、相手の立場になって考えてみるのが、男女共同参画の第一歩」との助言をいただきました。

### 参加してくださった方の感想から

☆社会を支えるため、経済力をつけるために女性の前進は大切。「子が宝なら親も宝」今一番重視すべき言葉と感心。心豊かに安心安定した生活ができるように。

☆ジェンダーの再生産をしないように、良い影響を与えられる母親になりたい。

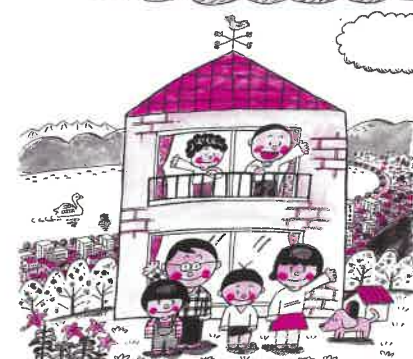
☆ワーク・ライフ・バランスの考え方を企業の経営戦略としてとり入れてもらうことが重要。

### 編集後記

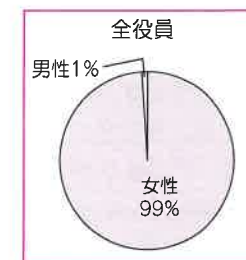
今号は男だから女だからでなく、ひとりのプロとして生きがいを持って仕事に取り組んでいる職業人、雇用環境が厳しい中、夢に向かって頑張っている学生さんにお話を伺いました。皆さんに共通していることは子どものころの体験が動機となり、進路や職業を自ら決めていっしょにやることでした。インタビューを通じて、明るく元気いっぱい、向上心に満ちた姿に接することができ感銘を受けました。



## 男女共同参画に関するアンケート結果

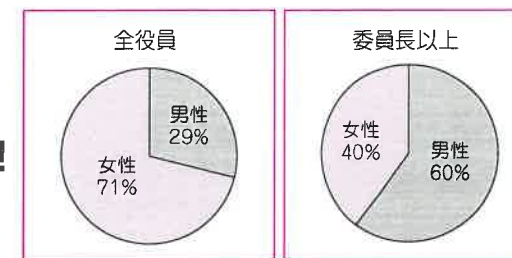


やっぱり？少ない  
男性保護者会役員！



保育園保護者会

意外に？多い  
男性PTA役員！



小中学校PTA役員

### ●市民協議会会員のつぶやき●

- A 保育園の保護者会の役員って、やっぱり圧倒的にお母さんなんだね。
- B そうだね。今「イクメン」が注目されているけど、子育ては母親の役割ってまだまだ思われているのかな？ \*育児に積極的に取り組む男性。育児を楽しむ男性。
- A それもあるけど、お父さんは関わりたくても仕事が忙しくて出来ないってこともあるよね。
- B 保育園保護者会は昼間にできることが多いよだから、なかなか難しいみたいだね。
- C 諏訪市は以前から保護者会連合会の会長がお母さんなんだけど、県内の他のところでは役員は圧倒的にお母さんなのに、会長はほとんどがお父さんで、諏訪市は進んでいると言われているんだって。
- A トップが女性ってことだね。ところで、PTAは会長以外にも役員にお父さんたちが結構たくさんいて、少しびっくり。
- B 確実に、お父さんたちも子育てに積極的に関わって来ているってことよね。
- C 子育てはお母さんひとりが抱え込むんじゃなくて、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そして地域で、支えていかなきゃね。
- A それから、諏訪市にもはやく女性のPTA会長が誕生するといいね。会長は男性じゃなくてはできないなんてことはないものね。
- B・C そうそう、性別に関わりなく、出来る人がやればいいんだよね。

皆さんはこのアンケート結果どう思いますか？



# 男だから 女だから ではなく 自分らしく 輝いて

男性の仕事、女性の仕事と思われがちな職場で自分らしくいきいきと活躍されているみなさんと、夢に向かって頑張っている学生さんにお話をうかがってきました。

諏訪赤十字病院看護師 小山泰仙さん オペ室係長 妻は日赤看護師1児のパパ

◇諏訪日赤の男性看護師は何人？

485名中30名。

◇看護師をめざしたのはなぜ？

母親が看護師で、その姿を見てかっこいいと思っていました。体育教師や刑事も考えましたが、中学2年の時に決めました。生涯の仕事としてやりがいを持って続けられ、学びながらキャリアアップしていくことができると考えています。



◇男性で困ったこと、逆にいいところは？

特に困ったことはありません。患者さんで男性看護師はちょっとという方もいらっしゃいますが、そういう場合は女性看護師が担当しています。患者さんの中では男性看護師は優しいとの評判もあるようです。また、女性の多い職場なのでムードメーカーになりやすく、職場の雰囲気も良くなるようです。

◇配属はどうなっていますか？

男女関係なく個人の希望を尊重してくれています。若いうちに重症かつ救急の患者さんを診られるようになりたいと、集中治療室を希望し8年勤務しました。その後手術室での患者さんの様子を知り、手術も勉強したかったので、オペ室を希望しました。災害や大事故の現場に行き救助に当たるDMAT(ディーマット)の隊員になっていますが、その現場でも手術の知識も必要となります。災害現場では体力面やトイレ等では男性のほうに利点があるのかもしれませんが。

◇家事や育児の分担は？

保育園への送り迎え・食事の支度、その他も分担するようにしています。妻の両親が近くにいるので、都合が悪い時には子どもを見てもらっていて、助かっています。

ひなどり保育園保育士 百瀬貴久さん 園長 妻はひなどり保育園保育士 2児のパパ

◇保育士になったきっかけは？

もともとは教員志望だったのですが、子どもが好きだったので、幼児教育学科へすすみ、保育士になりました。園児を連れて散歩している保育士さんを見ていいなと思ったこともきっかけの一つです。



◇ひなどり保育園の男性保育士さんは何人？

今は私1人です。今まで3人の男性保育士が在籍し、常時1人はおり3人勤務の時期もありました。

◇男性保育士のいるメリットは何？

女性だけで保育するのではなく男性と一緒に保育することは必要なことだと思います。男性はパワフルな遊び、高い高いとかもできます。家庭にお父さんがいてお母さんがいるように、保育園でも父親的母親的な関わりが持てるのが大切です。また、ひなどり保育園はお父さんの送り迎えも多いのですが、男同士だからわかりあえることやサポートできることもあります。もっと男性保育士が増えてほしいのですが、保育士は男女問わず狭き門となっていて、特に正規職員の道が少ないこともあり、なかなか増えない状況にあります。

◇保育士としてのやりがいは？

子どもたちの日々の成長、歩き出したりとか寝がえりをうったりとかの成長発達を身近に見られることです。

福祉大学校

三澤慎之佑さん(保育学科2年)

大澤 佑騎さん(介護福祉学科1年)



◇男子学生の数は？

保育学科2学年合わせて100名中9名  
介護福祉学科20名中3名

◇保育士になろうとした理由は？

(三澤さん)12歳離れている弟の面倒を見ていて、保育という分野に興味を持ちました。

(大澤さん)中学校の授業で保育実習をして、いいなと思いました。母が学童保育の指導員をしていたので、興味もありました。

◇男性保育士のメリットは？

(三澤さん)子どもたちも思いきり体を使ってぶつかってこられて、楽しそうです。ギターが弾けたり、遊びがダイナミックだったり、父親的な関わりができるようです。

◇介護福祉士志望ですか？

(大澤さん)保育士になりたくて入学したのですが、採用が少なく就職できなかったため、介護学科に進みました。実際勉強してみて介護もいいなと思いついて、介護福祉士になるか、保育士になるか迷っています。保育士は正規での採用が少なく、男女問わず厳しいです。介護の需要はたくさんあり100%就職できるようです。介護の分野は男性が増えていて、施設によっては半々くらいのところも多いです。

諏訪市役所建設課 古村美香さん 土木技術職員

◇土木を専攻したきっかけは？

父親が土木をやっていたので、自然に選んでいました。小さいころに重機に乗せてもらったりしてました。

◇女性で土木技術者は少ないですよね。

大学では、女子学生は216人中6人でした。現実問題、現場には女性用トイレがなく、トイレ・更衣室をつくるのにコストがかかるから採用できないと言われてしまう事もありました。



◇女性で困ったことは？

不便に思ったこと不都合なことはありません。体力的な差はあっても、周りの方が気遣ってくれ、自然にカバーしてくださるので感謝しています。女性が少ない職場なので、現場へ出るのは大変でしょうか？と心配して声をかけてくださる方もいますが、大変なこともあります。自分のやりたい仕事することができ、満足しています。

◇実際にどのようなことをやっているのですか？

河川や道路改修工事等の設計監督業務を行っています。学校で学んだことと、実際の仕事は違う事も多いので、しっかり勉強して広い視野を持ちたいと考えています。結婚しても仕事を続けられる環境であれば続けたいと思っています。

諏訪消防署消防士 川又千佳さん 救急救命士

◇救急救命士になろうとしたきっかけは？

看護師希望だったのですが、高校2年の時父が事故にあい、その時の救急隊員の対応がすばらしく、救命士になろうと決めました。

◇女性の消防士さんは少ないですよね。

女性用の設備(トイレとか更衣室など)がないと採用にならないのですが、諏訪市は私のために設備を作ってくれました。女性は救命士の資格を持って入る人が多いです。諏訪広域では、私以外に茅野市に2人います。



◇勤務体系はどうなっているのですか？

当直勤務をしています。8時半から翌日の8時半までの勤務で、当直・非番・週休の3交代制です。火事などがあつた場合は、休日でも召集がかかります。平常時は基本的には午前中は訓練、午後は事務ワークなどを行っています。

◇女性で困ったことや逆に良かったことは？

肉体的・体力的に違いは当然あります。火災現場では、装備10キロ、呼吸器10キロ、ストレッチャーも重たいです。この仕事に就こうと決めてから筋トレして鍛えています。男の人には負けますね。重たいものは自然と男性が持ってくれたりしています。一方で、施設見学の子どもさんや一般の人への声かけ、火災予防指導や救急講習では、女性消防士の方が親しみやすいようです。また、救急搬送の時に女性の患者さんに手を握ってくださると言われたこともあります。

◇結婚しても続けますか？

結婚して出産しても一生の仕事として頑張っていきたいと思っています。